

研究課題番号	2-1904
研究課題名	気候変動影響評価のための日本域の異常天候ストーリーラインの構築
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	高薮 縁

1. 委員の指摘及び提言概要

豪雨、猛暑、干ばつ、豪雪、強風などの日本域での異常天候について、大規模場と関係付け、5つの代表的気候モデルを選び、S-18等の他の影響評価・適応研究に提供し、共通気候シナリオとして活用されていることは大きな研究成果である。また、異常気象の要因解明や将来予測等に関してストーリーライン手法の有効性等を確認し、東日本広域豪雨の可能性増大などから防災の必要性を提唱したことなどの具体的成果を得たことや、62報の査読論文を出版したことに加え、アウトリーチ活動や一般向けパンフレットが発行されている点も評価できる。以上のような成果を、国や地方自治体の政策レベルでどのように気候変動対策、適応施策に実装化していくのかが今後の課題である。

2. 採点結果

評価ランク：S